

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【472】

2. 日時：令和5年5月9日 13時30分～15時45分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、皆川管理官補佐、義崎上席安全審査官、千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、中村主任安全審査官※、服部（正）主任安全審査官、岩崎安全審査官、服部（靖）安全審査専門職、府川安全審査専門職、宮崎安全審査専門職、伊藤原子力規制専門員、植木技術参与、谷口技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他2名

電源事業本部 耐震設計土木グループ マネージャー 他9名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁岩崎です。それでは本日も島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを開始したいと思います。それでは早速ですが説明の方。
0:00:13	よろしくお願いします。
0:00:18	中国電力の仲西です。江藤。溢水の評価について説明させていただきます。まず資料の裁判をさせていただきます。
0:00:26	資料番号読み上げます。
0:00:27	N-S2 他 123 回 071 番です。
0:00:32	N-S2.1032 回 03 が 2 番です。
0:00:36	N-S2.103、2 回 3 括弧日が 3 番です。
0:00:41	NS2.1034 回 0654 番です。
0:00:46	N-S2.1035 回、05 が 5 番です。最後です。N-S2 歩 015 回 17 が 6 番です。
0:00:57	本日は、復水タンク等を一連とした屋外タンク等による溢水評価の再評価を実施しましたのでご説明させていただきますと、初めに、資料の構成。
0:01:07	評価の位置付け、全体像をお示した上で屋外タンク等により溢水評価の結果を説明したいと思います。そのあと最後に指摘事項の回答、またその他の修正箇所がありますのでご説明させていただきます。
0:01:21	ちょっと申し訳ありませんが資料に幾つか誤字がございます。資料の説明に合わせて適宜て出ささせていただきます。
0:01:28	では早速説明に参りますと資料 6 番の通しページ 6、6 ページをお願いします。
0:01:41	あと補足説明資料 6 ポツ 2 というものに今回の評価結果を反映しております。次のページ 7 ページをお願いします。
0:01:49	目次となっております。
0:01:52	構成ですけど今回この 6 ポツに、復水貯蔵タンクという水準に追加したの評価を反映しております。他にした箇所はこの上から 2 行目の 6 ポツ 2 ポツに、
0:02:02	こちらに評価結果を反映させております。
0:02:06	別紙 5、復水貯蔵タンク等からの溢水に対する考え方と、漏えいの対応措置に、この資料で、まず評価の全体像を示しております。
0:02:16	別紙と六、七は本日別途ご説明をしておりますが、
0:02:21	復水貯蔵タンク遮へい位置等の損傷形態の評価を実施しております。別紙 8 にタンクからの漏えいの措置について土地採用しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	まず全体像についての後、別紙 5 でご説明します。通しページの 45 ページをお願いします。
0:02:43	別紙 5、復水貯蔵タンク等鹿野医師に対する考え方と漏えいの対応措置ですと 1 ポツの概要ですが、
0:02:51	今回復水貯蔵タンク等を水源とするにあたり、損傷データへの評価を踏まえて、屋外タンク等からの溢水評価を実施しております。
0:02:59	実施します評価につきまして技術水準の幼虫を整理した上でご説明をいたします。
0:03:06	2 ポツです、防護すべき設備に対する溢水評価です。
0:03:09	防護する設備に対するリスク評価として、基準地震動Ssによる地震力に対して、復水硝酸こと及び遮へい器等の損傷形態を評価し、損傷形態を踏まえた、
0:03:20	屋外タンク等からの溢水評価を実施しております。
0:03:23	と、これは流通基準規則第 12、12 条の 1 項に対するの防護すべき設備に対する評価となります。
0:03:30	と評価の内容について簡単にご説明します 2 ポツ 1 です。
0:03:35	復水貯蔵タンク等の損傷形態の評価ですが、
0:03:38	同基礎ボルトに生ずる損傷データを評価しまして、
0:03:42	基礎ボルトの破断によるタンクの移動動の破断、疲労破損と生じないと評価されましたが、初期不整による座屈タンクに接続され、配管部。
0:03:52	ソーシング屋根の影響の不確かさがあることを考慮し、地震に因る漏えいが生じる可能性は否定できません。
0:04:00	ここで初期不整の清という所に誤記がありますので訂正させていただきます。
0:04:05	2 ポツ 2 社例規等の損傷データの評価につきましては、
0:04:09	遮へい器は概ね弾性域にとどまる。
0:04:12	ことから、としゃ営企稼働が生じないこと、遮へい器と弁室の構造目地は超大変量が伸び量が、
0:04:20	伸び量未満であることから、構造明示から漏らしないこと。
0:04:24	と弁室は、微細なひび割れが発生することを確認しました。
0:04:29	2 ポツ 3 の屋外タンク等からの溢水評価です。2 ポツ 1 と 2 ポツ 2 の損傷形態の評価の結果、
0:04:36	復水貯蔵タンク等からの漏えいが生じる可能性は否定できないこと、また、弁室の微細なひび割れが想定されることから、屋外タンク等の溢水評価では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:47	配管部の完全全周破断を想定した評価を実施します。
0:04:52	評価内容については別途ご説明します。
0:04:56	続いて3ポツです。
0:04:58	管理区域外への漏えい防止に関する評価についてです。
0:05:02	こちらは、耐震重要度分類に応じて要求される地震力を前提とするため、
0:05:07	地震起因の溢水評価では、Bクラスである復水貯蔵タンク等及び遮へい器等は損傷せず発生する溢水に対してバウンダリ機能が維持できるため、管理区域外に漏えいはありません。
0:05:19	と、本評価は技術基準規則第12条の2項に対する評価となります。
0:05:25	4番です。
0:05:26	薄井宗担当からの漏えい事象に対する対応措置についてです。
0:05:31	地震により復水長タンク等から漏えいが生じた場合、漏えい水は管理区域で屋外配管ダクトに流出します。
0:05:39	流出した場合は、管理区域の流出防止を実施しますが、
0:05:43	屋外配管ダクト内の水位の上昇が継続する場合は、次和智方面たくなるため、
0:05:49	遮へい器のベースにたまりその後敷地の非管理区域へ漏えいする可能性があります。
0:05:54	この場合は、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第92条に従い定めている、安定に基づき、漏えい箇所の水理的な管理区域と設定し、汚染の除去等の
0:06:07	放射線防護上の必要な措置を講じます。
0:06:10	以上が復水象タンクを溢水人とする対応を、の全体像となります。
0:06:17	続いてこちらで数名下4ポツの漏えい措置について、あと別紙に詳細を記載しておりますので、そちらについて説明します。
0:06:25	ページ47ページ次のページをお願いします。
0:06:33	別紙8復水槽タンクからの漏えいの措置です。
0:06:40	3ポツの絵と想定中と漏えいの対応措置について説明します。地震により複数以上タンク等にひびが背負った場合、漏えい水は管理区域外屋外配管ダクトに流出します。
0:06:51	漏えいが生じた場合の対応措置について具体的にご説明します。まず漏えい水のchangeとしては、
0:06:58	屋内はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:59	屋外配管ダクト内のドレンサンプに設置した水位計等により検知し、手動弁の閉止等により漏えいを防止します。
0:07:07	配管ダクト内に漏えいした水はポンプによりタンクに移送します。対応するポンプとしましては、ドレンサンプに設置しているポンプの
0:07:15	廃棄物処理建物の床ドレンタンクに移送します。
0:07:18	また、可搬ポンプを準備しており、可搬ポンプにより、可搬タンクに移送し、移送した漏えい水は、床ドレンタンクまたその他の健全な担当に移送することを、としております。
0:07:29	次のページ、48 ページをお願いします。
0:07:33	上の表 1 にポンプの概要を示しております。
0:07:36	4 ポツです。
0:07:38	復水等タンクエリアからの漏えいの対応措置です。
0:07:41	配管ダクト内への水の上昇が継続する場合は、水は地表面高くなります。
0:07:47	遮へい機内及びベース内に滞留し、その後指示に漏えいする可能性があります。
0:07:52	この場合は保安規定及び社内手順書に基づく対応を実施します。
0:07:57	具体的には一時的な管理区域の設定、汚染の拡大防止として、流れどめの設定フェンス等で区画化し、
0:08:04	汚染拡大防止等の応急措置を実施し、その後、漏えい箇所周囲を一時的な管理区域に設定します。
0:08:12	汚染の除去としましては、漏えい水を手動ポンプ等により可搬タンクに回収するとともに、ウエスによる拭き取り等により汚染の状況を実施します。
0:08:21	長さんに、
0:08:23	クドウポンプの概要を示します。
0:08:25	なおここで表 3 としておりますがここも表 2 が正しいので、訂正させていただきます。
0:08:32	漏えい水の対応措置については以上となります。
0:08:39	続いて評価についてご説明をします。通しページ 8 ページをお願いします。
0:08:49	こちらが 12 条の 1 項でに対応する防護すべき設備への屋外タンク等からの溢水評価になります。
0:08:58	10 ページをお願いします。
0:09:02	表 6 ポツ 2-1 の水源とする屋外タンク等につきまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:07	表のNo.13 から 15 に、水源としてオク、
0:09:11	復水貯蔵タンク等を追加しております。
0:09:14	それぞれ保有水量 1800 に対してそれを上回る 2200 立米、または 1980 立米を、資料として追加しております。
0:09:23	また、11 号を追加しておりますので 12 ページをお願いします。
0:09:29	12 ページ下の黄色着色部です。
0:09:33	復水場タンク等の漏えい数につきましては、線量影響評価を実施した結果、4.7 ナカセ 10 のマイナス 20 ミリシーベルトパーアワー程度なり、緊急時の被ばく線量限度の着ミリシーベルトに対して十分作業時間が確保できることから、
0:09:49	アクセス性に影響ないことを確認してます。
0:09:52	詳細を別紙 9 に示しておりますので、
0:09:54	通しページの 49 ページをお願いします。
0:10:01	別紙 9 に先ほどの計算結果をちょっと示しております、タンク水の放射線濃度水深換算係数より 4.7 掛け 10 のマイナス 2 乗という数字を算出しております。
0:10:13	なお、
0:10:14	本市ではアクセス性に関する評価であるため、保管アクセスの指導にも同様の資料を添付する予定です。資料が重複するため、溢水防護では保管アクセス側の資料を読み込むことにして、
0:10:27	記載し、当該指導は捕獲する側で添付することを考えております。
0:10:33	続いて 14 ページをお願いします。
0:10:37	通しページ 14 ページの溢水、屋外タンク等の溢水伝播評価についてです。
0:10:45	溢水事象の設定としまして復水貯蔵タンク等からの溢水は、タンクに接続されているすべての配管の完全全周破断からの溢水を文字しております。
0:10:56	文字に当たり、配管からの流出による水等の定義を考慮してます。
0:11:02	こちらで中段の、
0:11:05	ところに、水稻溢水水位のEL23.15 を措置水稻年と記載をしておりますが、正しくはEL25.2 メートルを、処置水稻として、そこからの流出流量を計算しておりますので訂正させていただきます。
0:11:21	またこの水の設定につきましては、屋外配管ダクトが枚数となる 60 秒後に、Cs復水貯蔵タンク等から市に流出すると設定をしております。
0:11:32	16 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:36	16 ページの図 6 ポツ 2-3 損傷形態の概要図 2 と今回追加をしました復水貯蔵タンク等の、
0:11:45	の溢水量の時刻歴を記載をしております。
0:11:50	続いて 19 ページをお願いします。
0:11:55	(3) 溢水伝播挙動評価を踏まえた溢水評価です。こちらから評価結果を主催をしております。次のページ 20 ページをお願いします。
0:12:05	と。
0:12:06	(エ) 原子炉建物と、床からデービー建物に対する結果を反映しております、溢水区画への溢水量に対しいずれの経路からも溢水合格の伝播がないことを確認しております。
0:12:18	22 ページをお願いします。
0:12:21	22 ページの図に浸水の算出地点を示しております。
0:12:27	次のページの 23 ページをお願いします。
0:12:30	23 ページからは三社浸水新宿駅を示しております。
0:12:35	こちらが 27 ページまで記載をしており、28 ページをお願いします。
0:12:42	28 ページ表 6 ポツ 2-5 に各地点の最大浸水深を示しております。
0:12:49	次のページの 29 ページをお願いします。
0:12:52	29 ページからは緊急時対策所等の SA 建物に対する評価の結果を示しております。
0:12:58	0B 建物と同様の評価の結果、被水防護対象核電波がないことを確認しております。
0:13:05	30 ページをお願いします。
0:13:08	30 ページから 39 ページ目に浸水深所区域の算出点と算出結果を示しており、
0:13:14	40 ページをお願いします。
0:13:20	40 ページに、この表に緊急時対策棟の最大浸水深を、
0:13:25	示しております。
0:13:27	評価結果につき、つきましては、これまで先ほどご説明しました評価結果と、
0:13:33	のそれぞれ比較と考察を実施しておりますのでそれについて説明します。通しページの 50 ページをお願いします。
0:13:45	別紙 10 です。今回ご説明した復水貯蔵タンク等を追加しました被水評価、こちらを以下工認評価と申しますと、これまでに今までに説明していた、
0:13:56	復水貯蔵タンク等水源にしていない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:58	評価設置許可評価といいますについて、今回復水貯蔵タンク等以外の変更も実施しておりますので、その溢水伝播挙動評価の
0:14:08	結果について考察をご説明します。
0:14:11	2 ポツ、溢水伝播挙動評価条件の絵と相違です。
0:14:16	2 ポツ 1、あっち側を幾つかご説明します。まず一つ目としましては、水とする屋外タンク等として、復水貯蔵タンク等を追加しております。
0:14:27	1 ポツに、二つ目は、水源として和田に貯水槽をモデル化をしておりますが、
0:14:33	これまでは、貯水槽の天端を下端としてさらにその上に、貯水槽が乗るようなちょっと位置が高い位置に、モデル化を実施しておりましたが、
0:14:45	天端からその高さを地盤高さのEL44メートルに下げて、現実に即したモデル。
0:14:52	の変更を行っております。
0:14:54	が水が流出する水の高さが低くなっております。
0:14:58	51 ページをお願いします。
0:15:01	と敷地形状の変更になります。
0:15:04	図 3 に示してる通り、原子炉建物の恩田さん入港について当室を削除しています。
0:15:11	また、図 4 の通り、ガスタービン発電機建物付近に存在するとコンクリートブロックがえと一部モデルが反映されてなかったものがございますので、のみ反映部分をモデル化をしております。
0:15:25	52 ページをお願いします。
0:15:28	と 2 ポツ 4 の解析の時間刻みです。
0:15:32	本解析の時間刻みにつきましては、0.1 秒を基本としておりますが、流体解析で発散する場合がございますのでその場合については、時間刻みを小さくすることがあります。
0:15:44	今回の解析では、表 1 に示しておりますが、時間刻みを時間ごとに、前回の設置許可変更評価と工認評価で時間刻みが少し変わっている時間があります。
0:15:58	以上が今回の溢水伝播挙動評価の変更点になります。
0:16:03	3 ポツに、評価結果の尺を説明します。
0:16:11	図 5 に、浸水深所ウエキの評価地点と、次のページ 54 ページをお願いします。
0:16:19	承認に各地点につきまして、工認評価と設置許可評価の最大水深の比較と、一番右の列に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:30	以前の設置許可評価から最大浸水深が低下した地点について示しております。
0:16:36	55 ページをお願いします。
0:16:39	55 ページからは、それぞれの浸水深状況の比較を記載しております。
0:16:46	今回、55 ページの地点 1 から 3 ですが、
0:16:51	大きな評価としましては復水貯蔵タンクを追加しております。この地点 1 から 3 というのは復水貯蔵タンク付近ですが、今回、復水貯蔵タンクを、等を水源とすることによって、
0:17:03	これまで設置許可評価では、ほとんど溢水水位が立ってなかったところが、
0:17:07	5 分程度から水位が立つような傾向が見られております。
0:17:12	続きまして 65 ページをお願いします。
0:17:21	65 ページ 4 ポツですが、基本的には、復水貯蔵タンク等を水源と追加することによって最大浸水深が上昇するところがあるんですが、低下したところがあります。
0:17:33	低下してきた点について考察を示します。
0:17:36	まず(1)、地点 4 です。
0:17:41	図中に 1.4 の、
0:17:43	1.4 と、その地点 4 に対する溢水の伝播の方向を示しております。
0:17:49	節超過評価では東側から伝播した溢水による水位を算出しておりますが、今回の工認評価では、水素タンク等から伝播した溢水が、
0:17:58	ミナミ今回の公表では、することによって、最大浸水深が低下したと考えております。
0:18:06	続いて、66 ページをお願いします。
0:18:10	(2)、1.5 注 10 です。
0:18:13	この地点は複数移動タンク等の影響がない地点と考えられておりますが、軸時間刻みを細かくしたことにより、浸水深が低下したと考えています。
0:18:23	ここの 1 行目の浸水深の真の 10 月と誤っておりますので、訂正させていただきます。
0:18:30	67 ページをお願いします。
0:18:34	表の 3 と 4 に浸水最大浸水深となる時刻と時間刻みの比較を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:40	いずれも時間刻みを 0.1 から 0.05 に変更しており、の精密な精緻な値になったと考えております。
0:18:48	の文章の 4 行目に資料中に、真値に近い。
0:18:52	結果と記載しておりますが、ちょっと表現が適切ではないと考えておるため、訂正させていただきます。
0:19:00	続いて 68 ページをお願いします。ガスタービン発電機周りの地点 16 から 24 までの地点になります。
0:19:07	こちらの項番が(4)となりなっておりますが、(3)となりますので訂正させていただきます。
0:19:15	14 に浸水深の分布を示します。
0:19:18	和田に貯水槽のモデルの位置を下げたことと、未反映であったコンクリートブロックを反映したことによりガスタービン発電機建屋の電波が少なくなったと考えています。
0:19:30	そのガスタービン発電機へのの分布について 70 ページに記載しております 70 ページをお願いします。
0:19:38	中重要に先ほどご説明したガスタービン発電機建物周りの分布を示しております。
0:19:46	考察の、
0:19:48	以上になります。
0:19:51	続いて、資料 1 ページ、1-4 ページをお願いします。
0:19:58	以上が、
0:19:59	復水貯蔵タンク等を、
0:20:01	踏まえ耐水評価の全体像と、評価の詳細についてです。
0:20:05	資料 1 の 4 ページからは、それを踏まえて、指摘事項について回答したいと思います。
0:20:12	まず 4 ページのナンバー31 です。
0:20:17	遮へい器に貯留した水のスロッシングの考え方を整理して説明すること。
0:20:22	そして、その下のNo.33 です。冒頭にイスイバウンダリスイートを説明することについてあわせて回答します。
0:20:30	屋外タンク等からの溢水評価において、復水貯蔵タンク等を水源とすることから、基準地震動Ssに対してバウンダリ機能保持できるとした。
0:20:39	奥田タンク等から削除しております。またあわせて遮へい器につきましても、
0:20:44	次としないBCから削除しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:49	回答は以上です。続いてナンバー34をお願いします。
0:20:53	地震によるタンク。
0:20:57	タンクの損傷事象を整理し、遮へい器及び基礎の設計の前提となる条件を説明するとともに、その経過がどのように設計に生かされているかを説明することです。
0:21:07	複数イトウタンク等と、
0:21:09	遮へい器等の損傷データを評価し、大きな損傷が生じないことを確認するとともに、評価における不確かさや、佐伯等のひび割れを考慮して、それらを踏まえて水銀とすることに設置を、
0:21:21	反映をしております。
0:21:23	No.34 は以上です。
0:21:26	一番下のNo.35、お願いします。
0:21:30	タンクの放射性物質を内包する漏えい水について、水の基準要求に適合しているかを確認することです。
0:21:38	複数受贈タンク等からの溢水につきましては、
0:21:42	基準要求とその対応を整理し、基準要求に適合したことを確認しました。本日、別紙 5 にてご説明した内容になります。
0:21:51	続いて 5 ページをお願いします。
0:21:54	ナンバー36 です。
0:21:56	溢水伝播挙動評価について、前回評価と比較し、考察を説明することです。
0:22:03	覆水増タンク等を主任とする評価としない評価先ほど説明した設置許可評価と工認評価について、別紙 10 で資格と考察を、ご説明いたしました。
0:22:15	ナンバー37 です。
0:22:21	タンクの流出蒸気やダクトへの流入航路等について説明することです。
0:22:27	溢水伝播挙動評価におけるへと伝播の設定において複数以上タンクの流出条件として、屋外配管ダクトへの流入を考慮していることを、
0:22:36	流出条件として設定した流出蒸気を反映しと。
0:22:40	反映した箇所については先ほどご説明しました。
0:22:46	指摘事項については、回答以上になります。
0:22:48	続いて、
0:22:50	資料 1 ページをお願いします。
0:22:57	1 ページには設置許可の防食事項があります。こちらについても回答いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:03	まずコメント内容です。屋外タンク等のうち、基準地震動Ssに対して、
0:23:09	機能を維持するとしているものについては、いつに繋がる損傷モードの検討も含め、詳細設計段階で、基準地震動Ssによる耐震評価結果を示すことです。
0:23:22	資料 6 の 43 ページをお願いします。こちらで回答いたします。
0:23:38	別紙 3 です。別紙 3 に基準地震動Ssに対してバウンダリ機能が維持できるとした不具合タンク等について、溢水評価への影響も確認しております。
0:23:49	2 ポツの(1)です。
0:23:51	屋外タンク等または防油堤にバウンダリ機能を期待するものにつきましては、各計算書で構造健全性を確認することから、溢水評価への影響がないことを確認しております。
0:24:02	(2)です。内包水のスロッシング現象による天端の損傷につきましても、計算書において、天端が損傷しないことを確認することから、水消火への影響がないことを確認しております。
0:24:14	(3)防油堤の中で損傷する屋外タンク等への影響です。
0:24:19	につきましては、防油堤の高さが溢水水位に対して十分余裕があることから、溢水評価への影響がないことを確認しております。
0:24:27	次のページの 44 ページをお願いします。
0:24:32	表 1 に確認の結果を示しております。
0:24:35	対象としましてこの 2 号機の復水貯蔵タンク等は 1 水源とすることから確認対象から削除しております。
0:24:44	申し送り事項につきましては以上です。
0:24:47	最後にその他変更箇所についてご説明させていただきます。
0:24:55	資料 2 の 4 ページをお願いします。
0:25:05	資料 2 の 4 ページの真ん中下の黄色ハッチング部分です。
0:25:11	2 号地復水貯蔵タンクはこれまで保有水量の制限をかけていませんでしたが、1800 立米に制限をかけるための地裁を追加しております。
0:25:21	続いて資料 4 の 13 ページをお願いします。
0:25:31	資料 4 の 13 ページ。
0:25:33	表 2 の中、地震起因による溢水量についてです。
0:25:39	地震起因の溢水量ですが、
0:25:43	下から非へと二つ目ですが、復水等タンク等を 2000 立米から 1800 立米に保有水量を制限しますが、評価に用いる溢水量としてはこれまで通り、1800 ループホール 2000 立米を用いて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	評価を実施しているため、その旨注記を追加しております。
0:26:01	またその他関連箇所にも同様の、
0:26:04	反映を実施しております。
0:26:08	続いて資料 6-85 ページです。
0:26:25	あと資料 6、すいません。85 ページをお願いします。失礼しました。
0:26:30	7 ポツ 1、溢水防護区画ごとにおける機能喪失高さについてです。
0:26:35	こちらの資料につきましては前回の 4 月 18 日に、設計進捗等を反映した評価結果につきましてご説明させていただきましたが、別にしたと。
0:26:46	続きまして、ご説明させていただきました、について説明させていただきます。
0:26:50	86 ページをお願いします。
0:26:54	表の一番下に溢水防護区画。
0:26:58	そして真ん中に設備、防護すべき設備それと、その機能装置高さを、設備区画、
0:27:04	区画ごとに整理をしております。
0:27:07	その一番右のは、両に、
0:27:10	すいません失礼しました。別に、溢水防護上の排ガスの高さを記載しております。今回の 86 ページのRB2F01Nの区画で申しますと、
0:27:21	真ん中、RB2F01NのRCICthラック、こちら河川機能装置高さに 0.93 に下線を引いておりますが、この 0.93。
0:27:32	が、ここの区画で一番低い、機能喪失高さになります。そして、
0:27:37	溢水防護長原野磯野高沢、そこから 0.05、
0:27:41	メートルのマージンをとった 0.88 としております。
0:27:45	こちらに溢水防護上の配慮がその高さを整理しており、こちらの要目表と整合をとっております。
0:27:53	説明は以上になります。
0:27:59	規制庁岩崎です。はい、ありがとうございました。それでは質疑に入りたいと思いますが、何かご質問ある方がいいでしょうか。
0:28:11	私からなんだっけ。
0:28:16	補足の 50 ページから、
0:28:24	今回の被水評価で変えた部分が、
0:28:28	何点かありますけどこれは、
0:28:31	今回ぜ、変えたところすべて列挙されてるんです。それとその考察で必要そうな場所だけこうポイントポイントでこう、
0:28:39	ピックアップした感じなんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:43	中国電力の仲西です。今回変更したところすべてを取れ列挙させていただきました。その列挙した中で、それと今回の結果を比較して、
0:28:53	関係してるところをと整理してご説明をさせていただきました。以上です。
0:29:00	規制庁、大崎ですはいわかりました。
0:29:04	あと、解析の時間刻みなんですけど、これは何ていうか今回
0:29:12	何かその気時間刻みとその時間の範囲とかも何か全然設置許可の時と、がらっと変えてるんですけどこれって何か
0:29:22	こういう範囲で刻む考え方みたいなのは何かあるんですか。
0:29:30	中国電力の中西です。刻みの考え方はですねまず、弊社からは基本0.1程度あれば十分かなと考えており、0.1で実施をしていました。その中で、
0:29:44	水がよく流れたり出たり条件が変わるところが、やはり発散しやすいということで、メーカーさんの中で解析を促す上で、白山とかして、
0:29:56	ちょっと計算が追いつかないときに時間刻みをと変更することに落ちております。今回で言いますと、元0秒から、
0:30:06	元のところに一気に水がぱっと出るところでやっぱ少しちょっと厳しくなるっていうので、やっぱそこを時間刻みを細かくして実施しております。最後、全体の水の量が多いので、最後こう収束していくんですけど、
0:30:21	最後は低いEL6.5ってところあるんですけどやっぱそこにたまるこう流れるところもやっぱ少しあっさんが見られたっていうところで、3130秒から3ヶ月ということで、
0:30:33	安全文を書いて、実施したというところでございます。以上です。
0:30:41	規制庁イワサキです。わかりました。
0:30:45	だからさ、初動の最初水が漏れてくる部分と、最後の流れるところ。
0:30:52	発散した、実際発散したんですかね。なので時間刻みを小さくしましたということですか。
0:30:59	はい、わかりました。
0:31:01	私からは以上ですか。他に何かございますか。
0:31:23	規制庁のタダウチですすみません、資料、
0:31:27	6、
0:31:28	の話なんですけれども、
0:31:32	もう以前のヒアリングより大分確認はさせていただいたんですけれども、45ページから始まる別紙5の話なんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:48	復水タンク等からの漏水溢水に対する考え方と溢水への対応措置ということで全体の流れとしてはねBCクラスについては持ち先生にはもちませんような話を前提として、
0:32:07	多分 45 ページの下のところのすでにポチ 3 のところに書いてある通り、
0:32:12	要はタンクとかね遮へい器大きな損傷は生じないと評価されたんですけども、
0:32:21	評価による不確かさをただ試運踏まえるとということからの後なんですけど副副長タンク等からの漏えいが生じる可能性は否定できないまた弁等から久野ひび割れが生ずることから、
0:32:34	保守的に接続する配管の全周破断を想定して後閑体育館の溢水に対する評価を行うということで、
0:32:40	ここは保守的にもうタンクから水、要は液液体っちゅうかね、水が出てくんですよということを溢水の中に全部含めて
0:32:51	保守的に考えますよって話だと思ってますで、ちょっと気になったのが、この保守的になっていうところが、
0:32:58	配管の全周破断だけで保守的になって話してるのか、そもそもが、例えばね 3 ポツで、管理区域外漏えいの防止に関する評価のところ 12 条の 2 項の話でいうと、
0:33:11	一応漏れないんですよっていうことは一応主、補足説明資料の 6 ポツ 4 の中で一応確認はマジ以前こちらの方でも確認させていただいてるんですけど、
0:33:21	実力者おそらくほぼ漏れないですよっていう話はしているものの、2 ポツ 3 の方でそういったところは、あくまでもクラス分けの中のグレードに応じてここはもう保守的に、
0:33:34	溢水させるんですよって話になってるかと思ってますんで、その上でこの保守的の人が引っかかるところが、
0:33:41	配管の全周破断だけなんですけど、これだけで、外に漏れていく話なのかそれとも他のも全部想像ひっくるめて、いやもう保守的に見ればもう、流れ出てくんですよって話を、
0:33:54	を言いたいのかっていうところこれは位置付けとしては事業者としてはどう、どういうお考えなんですかもうここ受振破断さしてしまえば、外にもういや応なく漏れていくんですよって話なのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:05	それとも、いや他のところもバタバタと、ひび割れたり倒れたり壊れたりっていうのを、もう低クラスだから、そういった場等を仮定して話で、
0:34:17	A評価とするのかっていうのはこれ、どっちの考え方なんですかそれちょっと、その位置付けだけ明確にしてもらえますか。
0:34:34	中国電力の中西です。
0:34:37	まずいただいたご質問ですが、まずこの保守的っていうところにつきましては、まず、
0:34:44	12条の1項につきましての地震起因の評価につきましては基準地震動Ssの地震力による評価がまず求められている、おります。基準地震動Ssによる、
0:34:57	地震力に対する損傷形態の評価をするときに、復水貯蔵タンク等以外は、水中を立てたもう側壁が全部なくなるような、
0:35:09	耐震性がないと考えて全部壊れるとしてそれは壊れる事象に対して十分保守的だろうと、と考えております。じゃあこの復水貯蔵タンクについてはどうなんだって、
0:35:21	もうした時に損傷堤体の評価をして、タンク等は損傷しないことをすることは否定できません。ただ、ベースだとか遮へい器とかを、男性、
0:35:31	ひび割れが来る程度なので、仮にCSTエリアから漏れたとしても、そんなアノ量はないだろうと、と考えて、その設定する量として、
0:35:42	保守的に、配管の完全全周破断を考慮することで、まず12条の1項の評価としては、
0:35:50	問題ないと考えておりここで設定する量として、
0:35:54	配管の完全全周破断というところに保守的というのをかけて記載をさせていただいております。その他の12条の2項、また、水が燃えた場合のの対応につきましては3ポツ4ポツにちょっと書かせていただきましたが、
0:36:11	あくまでこの2ポツ3は、12条の1項の評価の設定にあたって保守的と、と記載したところでございます。以上です。
0:36:20	規制庁多田です。おっしゃってる意味はわかりましたがそうずっとこの保守的な意味合いというのは、あくまでも水量評価としての保守的っていう意味で記載されてるっていうことでよろしいですかね想定としての保守的ではなくてという話ですね。
0:36:37	すいません損傷形態の保守的ではなくてと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:43	中国電力仲西です。そうですね、水の設定として、シミズの設定として、はい、ご指摘だと、そのデータを評価した
0:36:53	結果補正だとは考えております。以上です。
0:37:20	規制庁の千明です。すいません。
0:37:24	資料の2番の4ページ、最後の方の説明があったところの、
0:37:34	黄色いハッチングがかかっていると風に課長のところって、ここ前回までは、1号、
0:37:43	の復水貯蔵タンクと3号の、
0:37:46	復水貯蔵タンク等補助復水貯蔵タンク、
0:37:49	これは制限をかけ、水保有水量に、
0:37:54	制限をかけることって、別に、
0:37:57	耐えられると。
0:37:58	いうことを書いていたんですけど、今回2号施設を入れる。
0:38:03	Ssに耐えられるものと耐えられないものを一緒くたにしてるんですけどその理由って何ですか。
0:38:14	中国電力の仲西です。それと、おっしゃる通り、ここの、まず、まずこの段落につきましては、空運用するものと、水の制限をかけるものがござ
0:38:26	で、これまで水の制限をかけるものにつきましては、水の制限をかけることによってSs機能維持するため、以前と異なるものがございましたが、今回2号機の復水貯蔵タンク等は、
0:38:40	水の制限をかけてもSs機能維持をせずに損傷形態の評価というところで用いております。で、すいません混在した理由と申しますのはこの段落の中に、衛藤が水の管理の項目なので、
0:38:54	ちょっと一緒くたに書いてしまったというところでございます。以上です。はい。はい。
0:38:59	で、ここの2.2っていうのは浸水評価条件の設定の項目なので、こう書いてしまうとその1水源として想定するのかもしれないのかが明確でなくなったような気がするんですけど、そこはどうお考えですか。
0:39:16	中国電力の長田です。はい。溢水量として性設定するかしないかというところまでは、はい
0:39:27	ここの2ポツ2では、
0:39:31	えっとですね、これは数表紙ございますけど、溢水等による損傷の基本方針、一番最初の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:41	これ、9-1 から 9-5 まで、5 章ございまして、実際の溢水量の設定とかは 9、
0:39:48	2 とか、3 とかその辺で設定を詳細にしていますここで御説明というか我々が
0:39:57	ご説明したい内容としましては 4 ページ目のところにあるものは、
0:40:03	タンク等水量制限を考えなきゃいけないものがこれだけあると、いろいろなことを、ここで記載をさせていただいておりますので
0:40:13	どれを椅子意見とするしないというのはまた後段の同じ、これ店舗の説明書になりますけれども、その中で出てきて参ります。以上です。
0:40:24	と大体わかりましたけど、
0:40:27	耐震性を向上させるっていうことなんですよねえと、これまでは、耐震性を確保するっていうので 1 号、
0:40:36	3 号の施設については、耐震性を確保するので、すなわち下水源としないということが読めたんですけど、
0:40:45	耐震性を向上させるって書かれると、耐震性向上させるから何なのっていうふうに思っちゃったんですけど、そのあたりどうですか。
0:40:55	はい。中国電力の長田ですちょっと繰り返しになって恐縮ですけども。はい。ここは、
0:41:04	もともとは趣旨としましては、今まで記載していた、
0:41:09	基準地震動に $S_s$ に対して耐性を確保するというような趣旨の記載であれば、
0:41:16	今我々御説明している復水貯蔵タンクとかの 3 タンクはちょっと、
0:41:22	表現として我々
0:41:26	いろいろ弾塑性とかいろんなことで、
0:41:30	事実、実態といいますか実際に使うものを説明させていただいてるというもので、規格等に基づいた評価とまたちょっと違ってますので、そういう意味で
0:41:41	$S_s$ 基準地震動 $S_s$ に対して耐震性を確保するという表現はちょっと、その 3 タンクについては、適当でないかなと判断をして、
0:41:51	もともとのこの記載としては水量制限ということで書かさせていただきました。
0:42:04	性があるものの工場のように、
0:42:08	中部電力田村です。床、満水のタンクの水量の評価ではなくて、だから性保有水量を制限するってことを書きたいために変えて評価の前提を変えております。なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:22	今までは、その目的として、耐震性、
0:42:26	機能維持まで書いてたんですけど今回書けなくなって、中途半端に耐震性を向上させると書いてしまったんですけども、なのでここはもう保有水量を制限するとして、あとの後段でちゃんとするしないを書いた方が、
0:42:39	すっきりしますので、そうさせていただきたいと思います。以上です。あくまでも前提条件を書いているということでご理解いただければと思います以上です。はい、わかりました規制庁チギラです。そうですね。はい。そのようにしていただいた方がすっきりするかなと思いました。はい。
0:42:58	すいません。
0:43:12	すいません、規制庁チギラです。もう一つありまして資料の 6 の、
0:43:21	16 ページ。
0:43:25	のところで、図の 6-2-3 の損傷形態の概要図というところの、真ん中の図に復水貯蔵タンク等ですね、ところの、
0:43:39	溢水量の時刻歴っていうのとか、この
0:43:43	ポンチ絵を追加していただいたと思うんですけど。
0:43:47	で、
0:43:50	この復水貯蔵タンク等っていうのは遮へい器とか屋外配管ダクトの効果が見込めるので、その下にあるですねその他、
0:44:00	水源みたいに、瞬間的に壁がなくなるという評価をしないっていう、いうことが、
0:44:08	14 ページ、14 ページを見ればですね、その辺り読めるんですけど、この絵だけでですね見るとなんで、
0:44:16	このその時水源とこの復水貯蔵タンクっていうのは、
0:44:21	違うのかと差別化できるのかっていうのがちょっとわからなかったんですけど。
0:44:26	そのあたりがちょっと何かわかるような工夫とかって、
0:44:31	できますか。
0:44:34	はい。中国電力の長田ですはい。一応我々の資料構成、一応説明させていただきますと 14 ページ。
0:44:42	通しの 14 ページにですね、ポツ(エ)のところ、
0:44:50	損傷形態とかを記載しておりまして、
0:44:54	はい。ここの、ここで復水貯蔵タンク、
0:44:59	等は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:03	一応大きな損傷が生じないことを確認しているけれども不確かさを踏まえて、接続配管の完全全周破断を模擬しますということを記載して、この
0:45:14	最後の段落から一応先ほどの、
0:45:17	6 ポツ 2-3 に飛ばしてはまして、
0:45:21	その説明ということで、
0:45:24	資料構成上は紐づけているつもりでございます。
0:45:29	以上です。
0:45:34	はい。その他水源。その他水源となるタンク、
0:45:43	ここで、12 ページではタンクの側板全集が瞬時に消失するという動き、
0:45:50	というのと、
0:45:52	この今回のその復水貯蔵タンク三つのタンクっていうのが、そういう同じ評価をしないっていうのは、ここの、今 14 ページで黄色くマーキングしてある内容。
0:46:03	あるからということなんですよ。
0:46:05	はい。中国電力の長田ですご理解の通りで。はい。その他制限は、はい Ss での評価とはしておりませんので、これらはもう瞬時に壊れると。
0:46:18	で、復水貯蔵タンク等につきましては、
0:46:23	Ss に対する評価をした上で完全全周破断ということにしておりますので、はいそのような説明をさせていただいております以上です。
0:46:36	完全全周破断というのとその 60 量。
0:46:41	ちょっと、
0:46:43	時間差があるじゃないすか時間遅れがあるじゃないすか。そこが、
0:46:48	この時間遅れ分っていうのは遮へい器だったりオクから配管ダクト。
0:46:55	あるから、
0:46:56	なのかなと思ったんですけど。
0:46:59	という理解でいいんでしょうか。
0:47:02	はい。中国電力の長田です 14 ページの黄色ハッチングのところの、
0:47:08	また、のところですね、ちょうど真ん中、(エ)の真ん中辺りですけども。はい。
0:47:16	60 秒後で約 319 立米の溢水量が想定されますけれども、地下ダクトに入りますのでまずそこが
0:47:27	ある程度たまってから、実際もう外に出始めるということで、はい、そのような
0:47:35	評価にしております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:39	はい。
0:47:40	わかりました。そうなるとですねやっぱり 16 ページのところのですね真ん中のところの、箱書きの内容。
0:47:47	タケダとちょっと、
0:47:52	読めないなと思って 14 ページと合わせて見ればいいんですけど、ちょっとそこだけ気になったんですけど。
0:48:01	はい、中国電力の長田ですはい。ご指摘の趣旨を生かしまして
0:48:06	箱書きの 16 ページの箱書きの内容をもう少しちょっと丁寧にダクトにたまって、60 秒後だとかそういう記載をちょっと追記するようにしたいと思います。以上です。はい。ご検討よろしく申し上げます。私から以上です。
0:48:30	規制庁の服部です。私から何点か確認をさせていただきます。
0:48:35	まず資料 2 番の、
0:48:39	10 ページをお願いします。
0:48:49	10 ページの(9)のところに、大型タンク隔離システムというのがあるんですけども、
0:48:56	この隔離システムというのは、
0:48:59	今全周破断、保守的に全周破断、完全全周破断を考えているところよりも上流側にあって、
0:49:09	実態的にわあ、
0:49:11	スクラム信号でこれが閉じるのD。
0:49:14	全周破断から、
0:49:17	は、
0:49:17	漏えいしないというふうに考えてよろしいんでしょうか。それともう、
0:49:23	あくまでもこれもBクラスなんで、
0:49:26	Ssに対して壊れてなければスクラム信号で閉じるけど、
0:49:31	壊れていたら閉じないので、
0:49:34	というふうに考えてよろしいんでしょうか。
0:49:39	中国電力の仲西です。まずこの(9)の大型タンク隔離システムにつきましては、建物の中で発生する溢水に対して、
0:49:50	寄与しているものになります。
0:49:53	今回の評価では、屋外溢水、
0:49:57	ですので、屋外のタンク自体が壊れたことを想定して、保有水量全量の 5600tを溢水するにあたって、村莊

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:08	モードの評価で完全遮断としています。で、ここに書いてます大賀高久システムっていいものは、この復水貯蔵タンク等からの配管が建物に入りまして、
0:50:19	建物のところに、Ss機能維持をする。スクラム時、信号で閉まる弁をつきまして、仮に保守的な想定ですけど、
0:50:31	地震が来たときに、CSTの復水貯蔵タンク等は壊れずに、
0:50:36	配管だけ壊れた 5600トン全量が建物に入ってしまうので、スクラムで1分間で隔離して、1分間の分の水を建物では考慮しようというものになりますので、
0:50:49	評価の場所がちよっと違いますので、少し評価に寄与していることが違います。以上です。
0:50:58	規制庁の服部です。はいわかりました前ちよっと私が資料確認した時はこの大型タンク隔離システムって、建物内だったんで、何名かだったんだよなという記憶はあったんですけど。
0:51:10	ちよっと復水貯蔵タンクで出てきたので、もしかしたらこれってタンクの脇にもあるのかなと思ってちよっと確認しましたが、理解をいたしました。
0:51:20	あと、資料 6 をお願いします。
0:51:32	規制庁のハツトリです。資料 6、
0:51:35	資料 6 に限ったことではないんですけど、
0:51:38	例えば、45 ページの別紙 5、ここら辺のところ、
0:51:44	図、
0:51:46	一応、保守的にタンクから漏えいした水はダクトの中に入ることだったんですけど、
0:51:54	ダクトの中に入ったあと 2、
0:51:58	ダクトと現象建屋の間 2、
0:52:04	水密扉みたいな紡績防水扉があると思うんですけども、
0:52:09	これがあるということは、
0:52:12	どこかを見ればわかるんでしょうか。
0:52:20	中国電力の仲西です。少々お待ちください。
0:52:34	中国電力の中出ですちよっと具体的な箇所はちよっと本社の方で確認しますがまず水密扉、ダクト内にございまして、
0:52:46	水密扉ですので、浸水防護施設として目標対象として挙げてますのでまず要目表。
0:52:54	に水密扉が登場しましてそこに配置図が出て参りますのでそこでも、最上流という観点ではそこでわかります。それから水の先ほど

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:07	②の資料からが、
0:53:11	添付の説明書溢水の説明書になりますけれども、この中にですね 9-5 というような資料、
0:53:19	水密扉等の設計方針等も記載しておりますその中でも配置図等を示しておりますので、はい。
0:53:26	後段の資料で、
0:53:30	Ss機能維持できる水密扉だということが、どこにあるというのを確認できるような資料構成になっております。
0:53:38	以上です。
0:53:40	規制庁のハットリですはいわかりました。ちなみにこの数字扉というのは、この 12 条第 1 項対応の水密扉なんでしょうか。
0:53:50	はい中国電力の長田です。はい。原子炉建物側に行かせないということで、考え、設置しておりますので殊、ご指摘の通り、
0:54:00	12 条第 1 項の水密扉になります。以上です。規制庁の服部ですわかりました。
0:54:07	ちょっと気になったのは、80 ページお願いします。
0:54:16	ここで府復水貯蔵タンクエリアにおける評価というところで図の 6-4-12 があって、最初にここを見たんですけれども、
0:54:25	ここはあれですよね原子炉建屋と建物とダクトのその境界部をもう切っ てしまっていて表現されていないじゃないですか。
0:54:35	ここに何だろう。
0:54:38	水密扉とか、防水液位みたいな、水密扉というのを買い行くのはできないのかなというところで、
0:54:49	今のちょっと確認をしたんですけど。
0:54:52	これで、ここのところって 12 条第 1 項に対する評価とは違うので書けないとかそういうのありますか。
0:54:59	はい。中国電力の長田です。ご理解の通りでここのはですねページで言いますと同じ資料の 71 ページ。
0:55:07	ですけどここは 6 ポツ 4 ということで放射性物質を含む、
0:55:11	液体の管理区域外漏えい防止評価という項目でございます。
0:55:17	ここはですので、先ほどの復水貯蔵タンクで言いますと、
0:55:23	80 ページですね。はい。
0:55:27	敷地に出さないためにBクラス地震動に対して、水密扉、ブルーで四角書いておりますが、こちらは 12 条第 2 項、
0:55:37	の扉になりますけれども、先ほど来

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:41	原子炉建物の影響という観点では、12条1項の評価になりますので、別のところで、水密扉も先ほど説明の通りですし、境界駅は貫通部止水処置をするということで説明を
0:55:55	させていただいております。以上です。
0:55:59	規制庁のハットリですはいわかりました。そうなのかなと思いつつ、読んでいてここであつたらわかりやすいのかなと思う。
0:56:08	ダクトの中に、319立米かな、貯めるっていうのもあつた話もあつたので、わかりやすいのかなと思ったんですけどそういう事情があるということで理解しました私からは以上です。
0:56:32	はい。
0:56:34	規制庁の谷口です。
0:56:36	6番目の資料の、今、今45ページ目のところろ、
0:56:42	ですけれども、
0:56:53	遮へい器と差併記。
0:56:56	東側の、
0:56:58	便益のところ、
0:57:01	のことが記載がされているんですけども、
0:57:04	遮へい力と、
0:57:06	遮へい東川娩出の、
0:57:10	配置がわかるっていうのはあるんでしょうか。
0:57:14	先ほど服部からもあつた、80ページの資料のところわかるのか。
0:57:23	これ以外のデータを見ないとわからないのか、ちょっとその辺を教えて欲しいんですけども。
0:57:33	中国電力の長田です。同じ資料の7ページ目をご覧ください。
0:57:44	この補説の目次なんですけれども、別紙5の後にですね、別紙7ということで、これ別途説明させていただいてる資料になりますけど、
0:57:57	遮へい器の損傷形態の評価をやってますのでその中で
0:58:02	遮へい機とベースの関係性とかそういうものは、同じアノシリーズで説明をさせていただいております。以上です。
0:58:11	はい。答えはそういう話じゃないかなと思いますけれども。
0:58:17	基本的には別紙で説明する壁が損傷するしないっていう話は別紙で説明してるっていうことはわかりますけども、
0:58:26	これらの別紙の資料は全部、
0:58:28	6.2項、例えば、4、14ページの、イスイ事象の設定と、この6.2項のところで説明している内容だと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:58:41	その辺の中で、そういう位置関係のものが書いてあれば、もう少しわかりやすくなると思うので、例えば 14 ページ目のところに先ほどの 80 ページで書いてあるような、
0:58:53	医師関係の絵を記載していただいて、
0:58:57	きっちり遮へい器がどこで、弁室がどれぐらいな、どういう位置になって、ダクトカー子どうなってるっていうのが、どっかで、こういう方針のうち消火納付取りまとめたところに記載していただけないかなと思うんですけどいかがでしょうか。
0:59:27	中国電力の田村です今、
0:59:29	ご指摘いただいた 6.2 のところは全体で、これタンクが、
0:59:34	数十個、破損させているようなところを説明しているところになりますので、ここでシステムだけ書くのはちょっと、ちょっとバランスが悪くなりますので、
0:59:45	今日のCST関係のところは別紙 5 の方の 4546 ページでまさにまとめてますので、ちょっとここに何か追加してわかるようにしたいなと思います以上です。わかりましたそれならまあ、福井
0:59:59	復水タンク等のところで、か。
1:00:03	取りまとめて記載していただければ、わかりやすくなると思いますので、検討してください。よろしくお願いします。
1:00:09	それで、あと先ほどの 6.2 項のところの部分で、
1:00:15	水貯蔵タンクと、て記載があるんですけど、要は、別紙の中ではきっちり復水復水貯蔵タンク等っていう記載については、
1:00:25	ただし書きがあって行か何とかかんとかって書いてあるんですけど、
1:00:29	本文の方、補足の本場の方は、
1:00:33	復水中のタンク等と書いてあって、具体的な説明がないので、その辺ももう少しわかりやすくしておいていただければと思います。
1:00:45	中国電力仲西です大変失礼しました読み込み等地裁の適正化のいたします。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
1:00:58	規制庁の三浦です。ちょっとこれ質問なんですけど資料 6 の 45 ページ。
1:01:04	2-12。
1:01:08	復水貯蔵タンク等の損傷形態の評価っていう部分で、
1:01:12	基礎ボルトとか道具の破断とか疲労破損が生じないと評価しましたと。
1:01:18	ただ評価に於いて、初期不整とかタンク接合部とかスロッシング、
1:01:23	これらの不確定要因があるので、一声評価することにしましたってストーリーになってるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:30	ここに記載されてる内容っていうのはなかなか定量化は難しいもんだと思うんですよね。
1:01:35	ちょっとお聞きしたいのは、Ssで大丈夫だと評価したタンクっていうのはあるのですか。
1:01:48	中国電力仲西です。Ss-Dの維持したタンクはございます。
1:01:54	少々お待ちください。
1:02:13	中国電力の田村です
1:02:16	資料2番の4ページの、
1:02:19	耐震性を向上させるということをちょっと書いて、訂正しますっていう話をしましたけどここにある。
1:02:27	1号機復水貯蔵タンクと、
1:02:30	3号機復水貯蔵タンク、補助復水貯蔵タンク、
1:02:34	は、真冬水量を制限したりしてますけども、その上で、耐震性は確認しております。それはタンクの綺麗な設計手法。
1:02:46	に従った、Sクラスのタンクに適用する手法を用いて評価しております以上です。規制庁の上田です。
1:02:55	それ、その部分でね、寄せ大丈夫だとしたタンクっていうのはその初期不整とか配管接続ここで書かれてるような内容の問題懸念はないから大丈夫だっていうな、
1:03:09	そういう説明ですか。
1:03:11	はいます小浦も踏まえた上での評価。
1:03:14	に、条約に従った評価になっております以上です。
1:03:19	そうすると、この複製貯蔵タンクに関してはこの三つの部分の不確定要因というものに関してはジャグに従った評価をしていないってことなんですか。
1:03:29	中国電力タムラですはい。その通りです。
1:03:32	逆では、
1:03:34	用いてる手法ではなくて、ちょっと、
1:03:36	流体と構造間連成させた評価とか、弾塑性も考慮したような評価をしております以上です。
1:03:43	結局だからあれなんですね今言われてるのは、JR601に従った評価をしているものは、基準地震動にする、Ssに対して健全であるという評価をしましたと。
1:03:54	けども、今回この復水貯蔵槽に関しては弱4601の評価をしていなくて、少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:00	くらいテールを止めてるかなんかしてるっていう理解でいいですか。だからこういうものに対しての危険性があるので、水路評価をしましたっていうふうな理解をすればよろしいですか。
1:04:10	中国電力の田村です。はい。ご理解いただいている通りですだから基本的には弱とかには、
1:04:18	いろんな前日入った上での企画になってると思いますけど、今回のところには、きちんと必要な前日とか、また初期不整とかですね、そういうことに対する配慮ができていないと考えております。以上です。うん。それでやっぱり、
1:04:31	多分そういうお答えなんだろうなと思ってたんすが 45 ページの部分に、健全として、
1:04:39	評価されたタンクと、今回のもの、その違い。
1:04:44	JR6 部、何とか 1 号機とか、3 号機の貯蔵タンクなんかは J-R4601 にした従ってやっているんだけど、今回は一応、
1:04:56	計算としては何かその上が 4601 に従わず、クライテリアを少し落として計算をしましたとすんだけど、それで大丈夫だということわかったんだけど、
1:05:06	こういう所やグループ①に載っていないのでこういうふうな確定要因があるので、今回は溢水量評価しましたって、
1:05:13	というようなことを少し強いここで記載した方がいいんじゃないかと思うんですがいかがでしょう。
1:05:18	中国電力田村です。今回のここでやってる評価弱 4601 に従って評価ではなくて、どういう評価をしてるっていうことが少しわかるような、別紙 56 の内容を少しこちらに、
1:05:32	記載したいと思います以上です。よろしくお願ひしますこのままちょっと見ちゃうと、
1:05:37	なぜ大丈夫だと言ってるのにここだけ確定。
1:05:40	不確定要因を見ていてね、本当に大丈夫なものっていうのは、なぜそこが大分こういう不確定要因を考えなくていいのかというところがちょっと話としてわかりにくいので、
1:05:51	もうちょっと説明を加えてください。中国電力田村ですはい。ただいまおっしゃっていただいた期限を、
1:05:59	が回収されるような文章をちょっと少し追記して、
1:06:02	いたします。よろしくお願ひします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:05	もう1点細かいことなんです先ほど資料6-66ページのご説明のときに一番上から、
1:06:13	浸水深の心の字が違ってます、誤記訂正ですっていう話があったんですが、
1:06:19	これ結構ね65ページにも、なんか何ヶ所もあるし、67ページの浸水深の心が違ってるとあるので、もう一度これのところは再チェックして、すべて統一して直してください。よろしいでしょうか。
1:06:34	中国電力の仲西です拝承いたしました大変失礼いたしました。
1:06:39	訂正いたします。以上です。はい。私から以上です。
1:06:47	規制庁の服部です。もう1点だけちょっと確認をさせていただきます。
1:06:51	先ほど
1:06:54	利水解析時間刻みの話が少し最初に出たと思うんですけども、
1:07:01	これはあれですかね細かくした方が精緻な結果が出るという理解でよろしいでしょうか。
1:07:08	というのは、
1:07:10	危険5、これ
1:07:13	許可の時は72センチ、今回、
1:07:16	刻み紅葉、細かくしたら48センチになりました。
1:07:21	これ開口のした場合は40センチなので、
1:07:25	その48センチになると8センチ分だけになるのでかなりこう、
1:07:31	評価が楽になるというか、タービン建物の中に推移していく水が少なくなるということで、ちょっと気になったので、
1:07:44	刻みを見、細かくすると発散するというところもあるんでしょうけど、
1:07:50	精緻になると考えていいのかどうかというところで回答いただきたいと思いますがいかがでしょうか。中国電力田村です。基本的には、刻み幅を短くすると計算時間は、
1:08:02	それだけ増えますけども、精度は上がって細かいところまで拾い、0.01秒とか、そういうところまでも拾った解析にはなりますけども、
1:08:12	まずそれでちょっと、
1:08:14	発散したものがちゃんと計算できるようになると。
1:08:17	はい。なり、なる、なります以上です。
1:08:21	規制庁は、
1:08:24	規制庁のハツリですはいわかりました許可の時も発散はしなかったんですよ72センチで出てるってことね。ただ、公認でさらに精緻にやって48センチになりましたという理解をしました。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:46	規制庁植木です私から何点か確認させてください。まず資料 2、
1:08:52	の 4 ページ。
1:08:55	先ほど来出てる、水量制限の件なんですけど、
1:09:02	2 号のCST、
1:09:06	は、今回 1800、
1:09:09	従来は 2000 円だったんですけど 1800 にした。
1:09:13	理由っていうのは、
1:09:15	この 2 号の三つのタンクCエステート補助CS抵当トーラス水水気タンク ですか、
1:09:26	の原石な評価だと、この三つのタンクがすべて、
1:09:34	水量が同じなので、代表評価っていうのは、確かに郷トーラス水タンク でやってると思うんですけど、
1:09:44	それで板圧とか厳しいものを選んでっていうことで、
1:09:51	これCST
1:09:54	1800 ではなくて 2000 円のままにしていると。
1:10:00	した場合には、その原石評価をやっても、
1:10:06	良い結果がえられなかったので 1800 に下げ下げたという理解でよろし いんでしょうか。
1:10:13	中国電力田村です。2 号復水貯蔵タンク、下げたタンクは、
1:10:20	今の現実的評価はやっておりませんで、1 台、今のトーラス水受入タン クで代表してます代表性の観点からここだけ、
1:10:30	板厚厚いんですけども水量が多いと、代表性の選定で、
1:10:35	ちょっと、
1:10:37	は、考え方がちょっとそれで良いかどうかとなりますので、すっきりさせ るためにも、あんまり 1800 にしても、運用上、しょうがないので、
1:10:48	もうそういたしました。以上です。
1:10:51	規制庁植木ですはい、わかりました。
1:10:54	それから、あと資料。
1:11:01	6
1:11:03	44 ページをお願いします。
1:11:09	これちょっと記載だけなんですけど、黄色あっちんgooのところ。こ の表の一位の経路ハッチングで、
1:11:17	ぼ
1:11:19	上の方にどういうてかっこ溢水防止駅、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:24	ていう、括弧、これ、つい追加したんですかね、ちょっと変更したのかちょっとわかんないですけどこれは、
1:11:33	読み方としては、防油堤イコール、
1:11:37	溢水防止へ来、
1:11:40	というふうに読むんでしょうか。
1:11:46	中国電力の仲西です。今回防油堤のところに先ほど小西通り水防積というものを追加をしました。もともとがこの
1:11:57	フローで、一般的な亡予定っていうことをさしていた、という意味で防油堤と記載をしておりましたが、こっつて防油堤とさらに水防堰ってものが、
1:12:10	あったので、一般的な防油堤の中の溢水防止液だということがわかるように、今回、
1:12:18	いろいろ、井戸と衛藤、着色して土地採用しましたので防油堤というのは一般的なタンクご予定みたいな、構造物の掃除をさせましてその中のものがわかるようにしました。以上です。
1:12:33	規制庁駅です。すいませんちょっと物がわかってなくて恐縮なんです、そうすると、実際どういう、
1:12:41	どういう底のほかに、
1:12:43	簿一斉防止へきというのがある、
1:12:47	伊勢予防するのは防油堤ではなくて、水防私益で止めるってことなんです。か。
1:12:58	中国電力の中西です。はい。前のページの43ページの(1)のところの、三つ目のポツですけど、
1:13:08	この可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートに係る補足説明資料の中に、この溢水防止堰というもの。
1:13:17	と評価結果を書いております、それと名称整合するように溢水防止堰としまして、SESCヘッジでいすよのバウンダリーとしております。以上です。中国電力の中でちょっと補足させてください。ここちょっと構造がですね
1:13:34	もともと、はい、今中醫師が申しあげました通り、43ページにタンクとか防油堤、(1)のところですね。
1:13:42	にバウンダリー機能を期待するものということで、大きな説明としてこういう記載をさせていただいてますが、この重油タンクのところには、
1:13:52	もともと防油堤があるんですけどもその内側に、耐震性のある椅子、水防止へきというものが、二重構造といいますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:04	ございますので、ここで言ってる防油堤というのは、実際止めるのは、溢水防止平気ですということ、はい。
1:14:13	そういう構造になっています。以上です。
1:14:21	規制庁大木です。
1:14:24	多分今の記載、特に表 1 でこの書き方だと全然わかんなくて、さらに、
1:14:31	43 ページの(1)の記載もわからないので、
1:14:36	ちょっともうちょっと明確にさせていただいた方がいいかなと思うんですけど。
1:14:42	中国電力タムラですちょっと言葉の定義者等定義のものと、その言葉に、友野に対する定義がちょっとちゃんと整理、
1:14:52	できない括弧でちょっと出した形になって中途半端になってますので、
1:14:56	ちょっと明確な記載にいたします。ものとしては
1:15:02	自由、
1:15:03	所属長するために
1:15:06	そのために必要になる、覚えていわゆる、
1:15:10	火災用の消防法上で必要なものと、この溢水防止するための耐震性あるものと二つあるということで、ちょっとそこらが成松になってますので整理した上で記載いたします。以上です。
1:15:29	規制庁の服部です。ちょっと私それも、
1:15:33	今は植木が聞いて初めて理解したんですけど、前回防油堤というか
1:15:40	タンクの説明が、
1:15:42	1 回ありましたよね土建耐震に対して、耐震性のある評価みたいな形で、
1:15:48	アノと切って、
1:15:51	あのときの平面図って二重になってましたっけ。
1:15:56	ちゃんと多分あれきちっと帰ってもらって色を塗ってもらって、こっちが遮水壁
1:16:03	遮水性セ遮水性のある壁です団体耐震性のある遮水壁ですこっちが防油堤ですって。
1:16:11	書いてもらわないと。
1:16:13	一つしか壁の下、壁の枠がないとおそらく勘違いをしてしまうので、そちらの方も合わせて対応していただくってことができますか。
1:16:28	中国電力の仲西です。4 月中のヒアリングでご説明していますのでちょっと確認、担当者、確認しますのでちょっと少々お時間ください。
1:16:38	規制庁の服部ですわかりました

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:41	ちょっと私もちょっと記憶がないので二重になってたかもしれないので確認をしていただきたいんですが、調べる時間があるのでとりあえず、ウエキの方に引いた引き渡しますその後、また後から説明していただければと思います。以上です。
1:16:58	中国電力の高松です。当時の補完アクセスの資料今程確認できましたのでちょっと説明補足させていただきますと、
1:17:08	住宅ナンバーワンⅡⅢの溢水防止壁ということで、保管アクセスの方で協議会を、溢水の観点も加えて説明させていただいております、
1:17:19	その資料の中で平面図を示ささせていただいております。で、そちらの方にですね、平面図で防油堤とですね、溢水防止壁を
1:17:29	両方アノへ
1:17:32	あわせてせ、見えるようにせえっと図示しております、溢水防止駅の方に黒実線で防油堤の方にグレー線ということで、わかるように明示させていただきます。以上です。
1:17:44	はい。中国電力田村です。なので土木さんの説明の時はちゃんと、
1:17:50	言葉を定義。
1:17:52	して、説明できておりましたけど、この資料がちょっと
1:17:57	ちゃんと区分した記載になっておりませんので、記載を修正いたします。以上です。
1:18:02	規制庁の服部ですはいわかりましたちょっと私も資料が手元がない中で確認させていただきましたがしっかりと記載されているということで理解しました。以上です。
1:18:16	規制庁植木です。同じ資料6の46ページ。
1:18:23	んですけど、散布Ⅱのですね事業名の後半で、
1:18:30	BクラスであるCSDどうは及び佐伯等を損傷せずっていうふうに書いてあるんですけど、これは確認ですけど、今回の
1:18:42	Bクラス用の地震動で、
1:18:47	タンクは人んと中だったと思うんですけど、2分の1SD、
1:18:53	によってアノ分、
1:18:55	健全であるということは確認をされてる、当然なんですけど、確認されてるということでよろしいんでしょうか。
1:19:05	中国電力田村です。はい。2分の1SD、新規制基準で定められた2分の1SDで耐震性が弾性であることを確認しております以上です。
1:19:16	規制庁池ですはい、わかりました。私からは以上です。
1:19:35	規制庁の吉崎です。資料6の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:19:39	50 ページをお願いします。
1:19:43	別紙 10 のところで、
1:19:45	先ほどの 2.2 の、
1:19:49	1 水源のモデル化のところなんですけど、
1:19:52	和田新居貯水槽の東側、
1:19:55	の増井
1:19:57	モデルカーしたところで、最初は天端位置だった。
1:20:01	ですけども今回は、
1:20:03	44 メーター盤に下げて、
1:20:06	現実に即したモデルなんですけどこれは、
1:20:10	通常水位がそれぐらいってことなんですか。それとも、
1:20:14	そう、最初は何メーターで、
1:20:18	通常待機時が 44 メーター。
1:20:21	無水だから郡にしたってそういう意味でしょうか。
1:20:28	中国電力の長田です。この部分はですね、もともと 50 ページの図 2 にありますように、
1:20:36	通常水はほぼ天端付近です 44 メーターから、天端付近に通常水があるんですけども、
1:20:47	設置許可評価のときは、さらにその天端の上に、
1:20:53	何といたしますか、水槽をつモデル化するような
1:20:57	もう一段高く、その浸水深分を上乗せしたような、
1:21:02	保守的ではあるんですけどもちょっと現実とはちょっと、
1:21:06	違う評価をしておりましたので、それを通常の水面レベルまで戻し、通常通り戻しましたというものでございます。以上です。
1:21:19	規制庁の三崎ちょっと今、今の説明で少しわかったんだから、
1:21:26	もともと許可の時は少し上乗せしてってことなんすかね。
1:21:30	そ、その説明はここだと。
1:21:34	何かわかるんですかね。何かわからない気がすんですけど。
1:21:38	40 メーター下げてってのは 40 メーターが通常過ぎ、
1:21:42	天端が強過ぎ。
1:21:44	はい。中国電力の長田です 50 ページの図 2 の方で、44 メーター盤と書いてますが、はい。オレンジの線で、
1:21:55	敷地レベルが 44 メーターです。それに対して、文章にございます通り、設置許可評価では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:06	貯層貯水槽の天端高さを下端としてモデル化をしましたというものを、実際には現場は天端ですので、
1:22:18	それを 44 メーター版の地表面位置まで下げましたということでございます。以上です。
1:22:28	中国電力田村です。ちょっと設置許可のときに、ちょっと実態と合わない と理解しているのでもっとわかりにくいんですけども、この記事として 添付 1、
1:22:37	うちが一番、岡丹としても低下していたかというところに、
1:22:41	現場一位に括弧で、EL-46 とか多分そういう数字になると思うんで、そ れをちょっと書くようにします。以上です。
1:22:52	はい。規制庁井関さん少しわかりやすいように、すごく簡単だから、どこ までウエダのかなっていうのもあるし、今のように明確に書いてもらえば 下がってるかと思えます。
1:23:04	それと、
1:23:06	もう 1 点確認で、
1:23:09	同じロック資料 6-40、65 ページ。
1:23:16	65 ページは先ほど説明あったんですけど
1:23:20	評価タンクを追加したことによって水位が、溢水のところの水位が下が ったところ、
1:23:27	が何点かあって、
1:23:29	1、(1)の 1.4 ですかね。
1:23:32	1.4 のところの説明で、
1:23:34	65 ページのこの(1)の、この
1:23:37	表、グラフの上のところですかね。
1:23:40	これだから流れ込むミイが流下する方向が 16 メーター盤から 5 メー ターへ流下することによる電波が増えているこの、
1:23:50	2 方向から伝播する一斉干渉をすることによって、
1:23:55	東側からの電波の勢いがなくなることで、
1:23:59	溢水、最大浸水深が低下したと考えられたんですけど、
1:24:05	じゃここで少しわかんなかったのはこのぶつかるぶつかるんですかねぶ つかることによって溢水の範囲が、
1:24:13	狭まるってことですよ。
1:24:21	すいません。どうぞ。中国電力田村です今イメージなんですけども、東 側から一方的に流れ込んで 1.4 に言ってたものが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:31	1.4 側からも水が流れることによって、右から、東から来るやつを、ちょっと押し戻したような形になって、結果的に 1.4 は下がったと考えております。
1:24:44	ちょっと地点 4 は、
1:24:47	この例でいくと、西側CSTタンクのところから段差があってちょっと勢いがついた水が流れてくるんで勢いをもって水が
1:24:57	西から東にちょっと流していくので東から西に流れるものが、ちょっとお仕事された形になったと理解しております以上です。
1:25:07	あ、規制庁ヨシザキ今の説明を少し補足的に、追記していただけると、その読んでて少しわかんなかったんで、
1:25:17	その浸水の範囲がどう影響するから、
1:25:21	下がったっていうふうに、
1:25:23	なると思うんで、そこを補足お願いします。
1:25:28	中国電力田村です。はい。ただいま申し上げたことを追記させていただきます以上です。
1:25:34	はい。あと規制庁吉井です。1 点だけ確認で 49 ページ、同じ 6 の資料の 49 ページは、
1:25:41	先ほど保管アクセス側につけると言っていた資料が、
1:25:47	別紙の 9 になるんですかね。
1:25:51	中国電力田村です。はい。その通りです今、
1:25:55	別紙 9 のやつが保管アクセスの方にもちょっと同じものがありまして、同じ資料を付けるのはよくないと思いますので清和保管アクセスがだと思しますので、そちらにつけて呼び込む形にしたいと思っております以上です。
1:26:09	はい。規制庁吉崎です。了解しました。
1:26:13	あと 1 点、もう 1 点すみません前のページその前のページ 40、
1:26:18	48 ページの別紙 8 で、
1:26:21	先ほどの漏えいしてるSEはドレンポンプとマーカーンポンプで上げるっていうんですけども、
1:26:28	羊蹄額 2.6 しかないんですけどこれはその床面とか低いところから
1:26:35	何だ。
1:26:36	向けタンクですかね。その、そこにあるタンクに入れるためのドレンサンプ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:44	で、違うところに移送するのかの、可搬ポンプでやるから、予定がかなり違ってんですけどもそういう線引きをされているということでよかったですかね。
1:26:56	中国電力仲西ですご理解の通りです。まず左のドレンサンプポンプは常時置いてるもので配管が敷設されてるので低く、たまったときに、
1:27:07	そのまま等等の方に流すというものです。右側の可搬ポンプというのが、ずっと水位が上がってきて、ダクト内にたまってきたときに、可搬タンクとかに移送できるように予定が高いものを準備しております。以上です。
1:27:23	市長吉武笹井わかりました。私からは以上です。
1:27:37	規制庁岩崎です。はい。あ、ごめんなさいちょっと何度も申し訳ないですけど、もう、資料 6 の、すいません時刻維持時間刻みなところなんですけど、
1:27:48	今回の評価でその元の方、
1:27:52	破損したのって
1:27:55	いや、その許可の時だと多分その 0.1 より刻んで乗ってその 20 秒か 25 秒の 5 秒間だけで、
1:28:02	今回その時間範囲も大分こう、
1:28:06	なんていうか
1:28:08	変わってるのは、これはごめんなさいちょっと単純になんてですかって いうのを教えてもらってもいいですか。
1:28:15	あと中国電力田村です。
1:28:18	表 1 個二つ並べてみると少し不思議に見えるんですけども、
1:28:24	基本は 0.1 秒で流してって、
1:28:28	発散してプログラムとなってしまうと、そこをちょっと刻みを、
1:28:33	短くしてでも短くしたものでずっとやると今度また時間がずっと何週間もかかってしまうので、すまちょっとトライアンドエラーもあると思うんですけど、このぐらいが小さくしとけばいいかなと思って、
1:28:47	多分、設置許可の時は 20 から 25 秒まで、
1:28:51	細かくして 25 秒からは、また元に戻して、結果的に流れたから最後まで行ったっていうことを、
1:28:59	ですんで、後任の時は 2200 まで行ったところで、
1:29:05	発散してしまったので、
1:29:07	違いますね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:10	伊勢最初、どっかで発散した、0.05 でやっていて、2200 ぐらいから 0.1 戻していいだろうと思ったら流れたので、3130 までいって、
1:29:21	そのまま終わるかと思ったら今度また 3130 過ぎたところで、発散しちゃったので、また細かくしたっていう、結果的にこうなったというところ、手数料。
1:29:34	あ、規制庁杉沢わかりましたありがとうございます。そうなんすちょっとこう並べてみると、何か変だなみたいな見た目になってるので、
1:29:42	ちょっとその辺が実際解析を流してみても、
1:29:47	ここに数字を変えながらやったっていう結果ということでない。わかりました。ありがとうございます。
1:30:08	規制庁記念担当服部です。今の時間刻みの話なんですけど、これ FLUENT 使ってると思うんですが、
1:30:16	発散を抑えるために、通常、
1:30:20	クーラン条件使って、時間刻みって決めてくんじゃないんですか。これ固定にされてるようなんですけど、あじかん側で、
1:30:28	何か変のクーラン条件に従って、時間刻みを、
1:30:33	時々刻々変えてくのが普通のなのかなと思うんですが、
1:30:38	クーラン条件ってあるんすよね
1:30:40	余最小要素長を流速で割って決まってくる時間幅があるので、
1:30:47	それで、
1:30:50	収束発生が決まってくるので、
1:30:53	そうやってやってるのかなと思ったんですが、これはもう、
1:30:57	やっとならんどエラーでやって決めちゃったということなんですか。
1:31:05	中国電力田村です。衛藤今おっしゃられた実感規制も可変にする手法もあるのは聞いておりますけども今回それまで使わなかったかはちょっと、
1:31:18	そこまで把握しておりませんので、ちょっと推定になりますけども、ちょっとこれ敷地全体で、
1:31:24	やっているんで、
1:31:28	どこに着目して時間刻みを決めるのかも、何か難しいのかなと思いましたが、
1:31:34	生なので今決めてやってっていうこういうやり方になったのかなとすみません、ちょっと推定で申し訳ありませんけど、
1:31:43	ちょっと着目点が難しかったのかなと思っております以上です。
1:31:47	はい季節ばかりハツリですわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:50	それで今岩崎からあったようにこれ、時間刻み、初期の段階で変わってるっていうのは、要するにこれ、原因は、
1:31:59	白山押さえるためだということなんです、だから、
1:32:04	要素は変わらずにあるとすると、流速が変わってるっていうことなんですよね。多分、
1:32:13	という理解でよろしいでしょうか。
1:32:18	はい、中部電力田村です。はいそのように理解しております以上です。
1:32:22	はい。規制庁木田です。了解しました。私の方から以上です。
1:32:31	規制庁ミナカワですちょっと何点か確認なんですけど、まず資料2で、
1:32:38	4ページでいく、
1:32:41	2号のCSTの保有水量1800にしますっていうところなんですけど、ちょっと教えていただきたいのは、衛藤アノこの工認の後段の保安規定の中の話なんですけどCSTのタンクって、
1:32:58	高濃度火山ば良い対策2島根は用いますっていう話で今申請されてると思うんですけど。
1:33:06	この2号のCSTの容量1800D、それはその対策上も問題ないっていう理解でよろしいでしょうか。
1:33:17	はい。中国電力の永田です。はい。
1:33:21	1800で問題ございません。はい。
1:33:25	皆川です。わかりました。それと、
1:33:32	資料の⑥ノ一。
1:33:37	別紙はちいなんですけど、
1:33:41	対応措置。
1:33:43	言ってることはこの3ポツの対応措置の(1)(2)(3)とか日なんか言ってることは、何となくイメージ湧くんですけど、何かもう少しこうなんですかね、図示とかして、
1:33:57	屋外配管ダクト等ドレンサンプの関係とか、
1:34:01	何か手動弁、どこの手動弁等を止めに行くのかとかですね、なんかそこから辺って
1:34:10	図示とかってできたりしますか。
1:34:15	はい。中国で十分。はい。中国電力のナガタですはいちょっと今言葉だけになってますので、はいちょっと、ずっと下配置関係、
1:34:26	補足させていただきたいと思えます以上です。
1:34:29	はい。よろしく申し上げます。
1:34:31	あとすいませんもう1点は今漏えい水の検知なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:38	これはあれですか、このドレンサンプに設置する水系統が検知します。
1:34:44	であるんですけど、
1:34:45	これは普通に中操とかで検知できるって思ってたんですけど。
1:34:51	中国電力の仲西です。はい。ドレンサンプの水位低の警報が入るようになっております。以上です。
1:34:58	はい。ミナカワそっかありました。
1:35:01	それともう1点なんですけど、
1:35:07	今回実施した溢水伝播挙動評価。
1:35:11	式ちいの条件なんですけど、ちょっとすみません考え方忘れちゃったんで教えて欲しいんですけど、あれ今回ってあれでしたっけ、安全対策工事とかの影響は見込んでないっていう理解でいいんだっけ。
1:35:26	中国電力の仲西です。はい。今回の屋外溢水の伝播挙動評価では、掘削がないほうが水位が高く、建物の流入の可能性が高くなりますので、
1:35:38	富の見込まない条件、掘削がない条件で評価を流しております。以上です。
1:35:45	ミナカワです。わかりました了解です。
1:36:05	はい。すみません私からは以上です。
1:36:20	規制庁イワサキですはい。他、ご意見特になければ、
1:36:25	江田はい。どうぞ。
1:36:36	すみません規制庁タダウチですけど、ちょっと、ちょっと簡単な確認だけ幾つかさせてください。ちょっと今日のヒアリング聞いてて、若干気になったところ、幾つかすみません。
1:36:49	資料6-65ページさっきの、ヨシダ今日も話があったんですが、
1:37:00	これ、
1:37:04	中身の話を詳しくはできないんだけど、
1:37:08	こういう普通、何かちょっと何か押し流れがあつてね、それがそれによって少し押しをされて、水位がなんか下がるみたいな知ってるんだけど、
1:37:23	ここの地点自体の水位っていうのは出てこないって話なんでこれだと何か、
1:37:30	何となく、
1:37:34	0みたいな気もするんですけどそういう話になっちゃう。
1:37:39	かな。
1:37:39	あんまり具体的な数字は言えないんで、
1:37:42	ほぼないに等しいような評価なんな。何となれば、例えば

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:47	流れ、別の流れがある方から入ってくるこの流れによる水って何か出てくるんじゃないかなって気もしないでもないんですけど、ここら辺の話ってどう、どうなってるんですか。
1:38:08	失礼します。なるほど。中国電力の長田ですはい。まずこのコンターがちょっと、すいません説明不足のところがあるかもしれませんけれども、
1:38:18	ワンメッシュです。今その中のボリュームが 50%、
1:38:25	たまったら、表示させるようにしていますあと時間をはい 600 秒のところ、ちょっと固定で、1 例として示してますので、はい
1:38:38	実際は説明の通り、
1:38:42	右の購入評価の方は、CSTタンクの方から 15 メーター盤から水が落ちていって、
1:38:51	ヒガシからの水のある程度種、
1:38:53	押し込んでるんであろうというふうに考察をしています。実際の水の方は、その上の図の 8 にございますように、はい両方とも、大体
1:39:05	20 センチ、
1:39:07	弱ぐらいの、はい。水は立って、
1:39:11	いるという結果でございます。ちょっとお示しするがちょっと適切なかったかもしれません。すいません。
1:39:22	すいません規制庁タダウチなだから 600 秒の断面ではこうなってますよってだけな 600 つつうか、そうですね。うん。わかりません。しました。
1:39:30	それとすいません。ページ戻って 44 ページなんですけれどもさっきの防油堤と、
1:39:38	2 水防刺激、実は別物ですよて、
1:39:42	一応二重になってますよって話なんですけれども。
1:39:45	そうすると、本溢水防止堰の外側に防油堤がね、あるっていう構造になってるという理解でいいですかね。
1:39:57	中国電力、野中西田防油堤の外に溢水防止液がございます。以上です。
1:40:05	わかりましたじゃあ外側に衰亡刺激があるっていうことではもう覚えてがどうだろうが溢水防止駅の方ですべて、要はバウン取りとしての機能を維持させるということでは理解しました。ちなみに、
1:40:19	防油堤と水防私益って距離近いんですか近くないんですか。
1:40:32	中国電力ナカニシアノへと確認しますのでお待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:41:42	あ、規制庁の帰属どうぞすいませんはい。すいません、中国電力の高松です。ちょっと今ほど、図面確認しまして、内側に防油堤がございましてその外側に溢水防止壁がございますので、
1:41:55	防油堤の高さですね地上からの高さ 2.5 メートルに対して、2.5 メートル以上離れた位置に、溢水防止壁の壁があるというふうなそういった位置関係になりますので、
1:42:06	必要な離隔はある確保できているかなというふうに考えております。以上です。はい、わかりました。理解いたしましたそれと、これもこれも簡単な質問です別紙 5、
1:42:17	あるんですけどその前に、多分話題になってたのが、
1:42:22	14 ページかな。なんかさっき田村さんがいろんなタンクがあるからみたいな話があったんですがこの復水タンク等っていうのはこれあくまでも 2 号の復水タンク等、
1:42:33	ということでもいいですねだから別紙 5 に書いてあるのは、2 号機に元のものに関してっていうことだけでよろしいんですよね。そういう位置付けのものですよね。
1:42:44	中国電力の仲西でご理解の通り 2 号機の複製状タンク補助復水貯蔵タンク、トラス通じるタンクのこの 3 基となります。以上です。
1:42:54	はい。他のところの質問でもあったと思うんでそこら辺復水貯蔵タンク等のところの定義のところできっかりと明確にしていただければと思います。はい。以上でございます。
1:43:04	中国電力仲西です拝聴いたしました失礼いたしました。
1:43:19	規制庁イワサキです。それでは報告はよろしいですか。
1:43:23	仲野さん何かございますか。
1:43:27	規制庁仲村ですけど、私も何点か確認させてください。
1:43:32	音声聞こえてますかね。はい大丈夫です。お願いします。
1:43:38	はい。
1:43:38	まず 1 点が、資料 6 なんですけども、
1:43:44	例えば、例えば、28 ページの方で、最終的に溢水評価のところっていうのは、
1:43:57	③-01 と 2 の関係で知るページの関係で、お聞きで、
1:44:07	最終ですね、その評価っていうことで認識で間違いないですか。
1:44:14	中国電力の仲西です。はい。まず、建物、
1:44:19	昨年度のニズミの設置高さをまず超える、超えないというもので輸入の有無を、判断がまず第 1 ステップをして、この後表続いて、超えるも

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のについては水密扉を設置していると入らないことを確認しているものと、タービンについては入っても良いということを確認しております。
1:44:36	規制庁ナカムラ%フルヤサノ観点からなんですけども、多分、その評価の方針みたいなのが、資料 6 でいうと、
1:44:50	多分それに近いのが量。
1:44:54	19 ページ。
1:44:56	の両括弧 3 のところに、
1:45:00	文章三行ぐらいあってそれっぽいような感じのことが書かれているのかなと思うんですけども。
1:45:07	最終的な評価の 3-1。
1:45:11	2 の関係ということがなかなかこの文章からでは読み取れないんですけど、どっかそれにわかりやすいような内容のことが書かれてるんでしょうかっていうところで、
1:45:22	もし書かれてないんだったらもう少しその辺、
1:45:26	3-1、1 個の関係で評価してますっていうところ書いたらどうでしょうかっていうところですね。
1:45:35	いかがでしょうか。
1:45:41	中国電力の仲西です。ご指摘の趣旨理解いたしました。
1:45:47	まず、構成としましては、20 ページですとか、21 ページの個別の提案に対して、今の超える超えないっていうものを、ちょっと個別に書いていたんですけど、
1:46:00	初めの書き出しのところに、どういう判定。
1:46:03	というふうなことがわからないってことですので、ちょっと 19 ページの初めのところに記載を工夫したいと思います。以上です。中国電力田村です。今の訂正、江藤、補足ですけど、補足というか、
1:46:17	わかりやすいようにということで表 6-2-5 に読み、
1:46:23	方が注記で書いてあればいいと思いますので、表の下とかに、
1:46:30	判定の考え方がわかるように記載いたします以上です。
1:46:37	はい。規制庁仲村です。この表のところにも追記してもらったら、これが多分最終月的な結論というところで、この表で終わってるみたいな形に今なってるんで、
1:46:50	評価方針、どういう考えのもとになってるかっていうのはわかればいいで、書き方についてはお任せします。それとあわせ、
1:46:59	ですけども、
1:47:01	この表でですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:04	一番右の端の方に、3-
1:47:09	1
1:47:10	と2の関係のバーと丸が書いてるんですけども、これも判例っていうんですかね、ちょっと説明があった方がいいのかなと思います。ていうのが、
1:47:22	要するに丸のところはバツなわけですよ。
1:47:26	ということだが、
1:47:28	3-1 との関係で、関係あるということで0にしてるんですけど一般的なマルとバツが逆になってるんでちょっとそこは説明してあげた方が、
1:47:39	親切かなと思いますけど、いかがでしょうか。
1:47:48	中国電力の中西です。はい。先ほどご指摘のあった少し、
1:47:53	ぱっと見この上流の部分にない、佐瀬丸戸松の関係等ちょっとわかりづらいところがありますので、ちょっとここは、どういう評価が繋がるのになるか、
1:48:05	0ではなく、わかる形にしたいと思います。以上です。
1:48:12	はい。表のところについてはよろしく願います。あと、できればですけども、
1:48:20	本当はこの表のところ、3-1の数字が書かれてると。
1:48:26	わかりやすいということと、
1:48:30	この資料の、
1:48:35	23 ページ以降ですね、グラフがずっとあるんですけども、
1:48:41	それと、それぞれの最大浸水深の位置がどこになってるかっていうのが示されてると、非常にわかりやすいかなと思いましたけど、いかがでしょうか。
1:48:58	中国電力の仲西です。はい。表につきまして引き算の結果入るか流入するかの数値を、このグラフにつきまして、どこの点読んでるかっていうのがわかるように、
1:49:10	配慮しようと変わっております。以上です。
1:49:15	はい、ありがとうございます。
1:49:17	あとすいません続けて、同じようなところで40 ページなんですけども、
1:49:25	さっきも
1:49:28	安全対策工事のことですね、ちょっとコメントありましたけど、ここで言うと、25 から 28 の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:38	ところですね、第1弁とフィルター格納槽とか低圧原子炉の方ですね、これって、私も気になってたのが安全靴対策工事のことって、
1:49:49	どうなってんのかなと思って、先ほどの説明では保守的に、
1:49:56	安全対策工事は考慮してませんっていうことだったんですけど、
1:50:01	全体的な流れとして今までの、
1:50:05	資料って、そういう時って、何かそういう説明。
1:50:10	注釈というか何かそういうことが書かれたりしてる方がわかりやすいかなと思うんですけど。
1:50:18	いかがでしょうか。
1:50:27	中国電力の仲西です。ページで、7ページをお願いします。
1:50:36	と。
1:50:37	これ補足説明資料の6ポツ2の目次ですが、
1:50:43	はじめにの、すいません、目次で6ポツ2-1ではじめに6ポツ2-2で、溢水の地震起因の評価、2ポツ3D土石流による評価。
1:50:54	2ポツ4で掘削箇所への流入を考慮した評価を実施しております。なので、一応ここでは、地震で掘削の考慮の有無と目次で示していると考えておまして、
1:51:09	これの補足ですので大本がですね、資料⑤の、
1:51:17	49ページをお願いします。
1:51:21	49ページの2ポツ3ポツ5が、これ添付書類になりますが、その大元になります、屋外タンク等からの溢水に対する評価のところの評価方法の、
1:51:36	45行目辺りからですかね、江藤です。安全対策工事に伴い掘削効率ため掘削箇所の粒度降水評価を実施すると。
1:51:46	書いた上で、6ポツに行っておりますので、こちらで一応読み込み等もあるのかなと考えておりますが、いかがでしょうか。以上です。
1:52:02	すいません。規制庁仲村ですけどもすいません。今のところ最後のところもう一度、
1:52:09	確認ですけども、
1:52:11	えっとですね、資料5の、
1:52:14	49ページの、
1:52:17	23号の評価方法で、1、蓋パラメですかね。
1:52:23	安全対策工事に伴い掘削を実施するため、
1:52:29	掘削箇所への溢水の流入を考慮したい政府営業を評価するということは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:43	中国電力田村です。
1:52:51	はい。まずちょっと書かないと今の記載でわかりにくいと理解しました。ちょっと
1:52:57	今は、グッ札掘削を考慮した評価をするっていうことを前提に変えましたので、ちょっとこれはその前の記載になっ
1:53:07	て、
1:53:09	しますんで、やり方としては、でも掘削が、
1:53:13	ない状況が保守的だからやるっていうのが、ちゃんと書いてないから。うん。んなので、ずっと読めないから。はい。なので、
1:53:27	違う。
1:53:32	はい、中国電力の長田です
1:53:37	はい。はい先ほどちょっと、今回ですね6の資料の7ページ目目次ありますけど、6ポツ2ポツ4。
1:53:45	で、今回ちょっとお出しできてなくて申しわけございません
1:53:50	こちらでももとは、はい。はい。この書いておったんですけれども。はいちょっと関係性がわかるようにですねちょっと追記する方向で考えたいと思います以上です。
1:54:07	はい。そうですね。私の認識では、
1:54:12	それ、今回の資料、施工2の資料というのは基本的には安全対策工事を、
1:54:18	実施するっていうのが前提で全部があって、それで今回は、
1:54:24	保守的だからそのまま掘削前のやつでやるっていうのは理解してるんですけどそれがちょっとやっぱり、この文章ではわからないんで、特にそういうこと言われてるんだと思いますけど。
1:54:36	そこは資料の適正化ですね、をお願いしたいと思います。
1:54:42	はい。中国電力田村です今ご指摘いただいたところを読めるようになってませんので、記載いたしますで、一応ちょっと念のために申し上げますと、
1:54:52	掘削状態を考慮することを前提なんだけれども、この溢水評価においては考慮しないほうが保守的なので、考えません。
1:55:01	ただし、その穴、穴のところについては考慮した保守的になるので、そこはそこでさらに手当しますっていうのがさらに以下の文章ですので、ちょっと、
1:55:11	こっちに行って、またこっちとこっちっていう何か、ちょっと複雑なのでそこがきちんと読めるような記載にいたします以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:23	はい。そうですね。よろしくお願いいたします。
1:55:27	あと最後 1 点だけですけども、資料 4。
1:55:36	ですね、の 13 ページ。
1:55:40	で、
1:55:42	これはアノを、
1:55:45	13 ページの下に黄色ハッチングの※6 のところを復水貯蔵タンクって云々っていうのがあるんですが、これは先ほど、
1:55:54	タダウチから話があった。
1:55:57	私も気になってたんですけど、2 号機ってことなんでしょうか。
1:56:03	他のところっていうのは全部例えば、復水貯蔵タンクっていうのは、1 号 2 号 3 号というふうについてるんですけど、ここでは何も書かれてないのは、
1:56:14	2 号という認識でいいのかという、ちょっと確認だけです。
1:56:20	中国電力の仲西です。こちらのタンクも 2 号をとさせております。以上です。
1:56:29	はい。わかりましたこの辺もちょっと
1:56:32	わかりやすかったっていうんですかね。誤解を受けないようなところで記載を、
1:56:38	検討していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
1:56:43	中国電力の中田です。了解いたしました。
1:56:49	です。
1:56:51	中国電力の長田です。
1:56:55	すいません。先ほどの純層
1:56:58	13 ページですけどもこちらは地震起因による溢水量ということで、
1:57:05	はい。
1:57:06	はい、2 号の系統を書いています。で、一番下の行に屋外タンク等というのありましてこれはトータルで。はい。この屋外タンク等の、
1:57:18	内訳を示す中では、敷地全体を見ておりますので、1 号機のものとか 2 号機のものが出てきてそうです。
1:57:28	はい。
1:57:29	記載されてます
1:57:31	基本的には、2 号炉の 2 号機のは 2 号機をつけないように記載をしていますけれどもちょっと部分的にわかりにくいところとかございますので、はい。ちょっと
1:57:43	その辺の記載も検討したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:51	はい。規制庁中村です。よろしくお願いします。
1:57:57	私からは以上です。
1:58:07	すいません、江藤追加で恐縮ですが規制庁記念Tとハットリですが、資料 6-23 ページお願いします。
1:58:18	ここに浸水深の時刻歴で出るんですが、浸水深の定義を教えてくださいたいんですが、これ僕でやってると思うんですが、
1:58:29	例えばそのご夫婦が、50%のところを見、ずっと見て、それを審査、深さとしてるのか或いは何パーセントとしているのかちょっとその定義を教えてください。
1:58:50	中国電力仲西です。少々お待ちください。
1:59:26	中国電力田村です。
1:59:32	メッシュの何%。
1:59:35	ちょっとな、何か来分かるように記載しようと思うんですけども、
1:59:44	どういうんですか。
1:59:45	水の出し方ですかね。メッシュで高さがあってその何%をどう見てるかとか、
1:59:53	ちょっともう少しちょっと教えていただければと思います。流動解析なので、例えば、100%から
2:00:03	0%ということではなくて多分途中のやつは 50%になってたり、んなると 75%になったり 25%っていう結果が出てくると思うんですが、そのときに、
2:00:15	50%のところを高さとして、深さとしているのか、25%のところを深さとしてるのか、その定義がですねこれ多分書いてないと思うんですけど。
2:00:26	そこをちょっと明確にしていきたいなと思うんですが。はい。中国電力田村です。何%のところを水を出してるか、記載いたします以上です。はい。施設を記念担当服部です。よろしくお願いします。
2:00:55	はい。よろしいですか。規制庁イワサキです。
2:00:59	それでは本日の指摘の確認に行きたいと思いますが、ご準備懸案したら、戸上教諭の方、お願いします。
2:01:11	記録電力ナカニシです準備できましたらお声掛けします少々お待ちください。
2:03:18	中国電力の仲西です。画面共有できていますでしょうか。
2:03:43	はい。一番 2 番結構です。
2:03:49	はい。中国電力のナカニシじゃちょっと 2 番了解いたしましたところですね。両方。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:06	はい。ではナンバー3の遮へい気圧エミとの配置等について呼び込むこと。
2:04:12	でしょうか。
2:04:16	3番のタニグチです一応これで結構です。
2:04:22	中国電力中出です失礼いたしました。了解です。
2:04:32	はい、では、次ナンバー4、Ss機能維持しないタンクについて破損形態の評価に対する不確かさについて説明することです。
2:04:48	3番は括弧にしといてください。
2:04:53	中国電力仲西です。了解いたしました。
2:04:58	4番括弧でお願いします。
2:05:09	すいません、これ4番って三浦さん。
2:05:14	じゃない。
2:05:15	三浦さんですね。
2:05:17	そうですね。
2:05:19	中国電力ナカセアノ、失礼いたしました。
2:05:29	はい。すいません。4番、三浦です。これで結構です。はい。
2:05:47	すいません多分、ちょっと指摘した方がちょっとずれているみたいですのでちょっとすいません間違っただけ失礼いたしました。
2:05:58	5番につきましても浸水新築ブレーキの記載を血清化する。
2:06:02	こと。
2:06:03	はい。です。
2:06:15	それで結構です括弧書きでお願いします。
2:06:22	鳥海ミウラですね。
2:06:31	中国電力の浅野はい、失礼いたしましたで括弧書きとしました。
2:06:35	次、6番です。防油堤と浸水防止、水防、溢水防止ですね、の違いを説明することです。
2:06:47	これウエキも追加してください。これはもうOKだああそうなんですか。
2:06:55	上ウエキ定期にしてください。
2:07:00	はい。括弧書きでお願いします。
2:07:06	はい。7番で貯水槽のモデル化位置の変更について詳細に説明すること。はい。7番8番、7番はそうですね許可での条件を書きいただいでその変更した後の設工認の状況、40メーターメーターも、
2:07:23	許可のときの高さも、記載していただくことで、
2:07:28	7番ですね。
2:07:30	括弧でお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:07:49	8番はそれで電波の勢いそうですね、はい。
2:07:54	600秒の場面のあれしかないんですかね。
2:07:58	ポンチ絵というか、
2:08:00	なるほどね。ちょっと。うん。ちょっと、可能であれば
2:08:06	記載等、ポンチ絵が合うように、
2:08:10	して欲しいっていうのが、8番。
2:08:15	中国電力の仲西さんの了解いたしました。チーズの関係については、はい。はい、9番皆川さん。
2:08:26	はい9番はこれで大丈夫ですって括弧で、
2:08:30	大丈夫です。
2:08:33	で、ついでにすいません。
2:08:36	8番のコメントのコンター図なんですけど、何か私も、
2:08:42	600秒だけじゃなくて複数あったら複数つけた方が説明に、
2:08:47	がよりわかりやすくなるんじゃないかなと思いましたっていう話と、何か複数出すときに1.4じゃなくてもその地点4の、
2:08:57	上辺り、その周辺2どっか
2:09:01	2方向からぶつかることによって何かこう、
2:09:04	ピークが立つようなコンターが見れば、
2:09:07	何かよりわかるのかな。
2:09:09	今ちょっとそういう魂胆があんのかどうかわかんないですけど。
2:09:12	ちょっとそこら辺も含めて、別にこれつい追加してもらわないいで、アノは8番の。
2:09:17	コメン等の該当する際に参考にさせていただければと思います。
2:09:23	お願いします。
2:09:25	強く電力ナカニシアノ8番の趣旨理解いたしました。以上です。
2:09:31	一番は配給分です。対応措置の者についてずっとを用いて説明する。9番OKで括弧で大丈夫です。
2:09:41	はい、では10番です。復水貯蔵タンクの持参についてどちらの5時の単価を明確にすること。
2:09:48	これあれでしたっけもう動きつけないのが2号ってもう最初に決めてるんでしたっけあんまり僕もここまで、そんなこだわってないんだけどちゃんと認識識別できればいいとは思っているんですよ。
2:10:02	そこんところドーナツナカニシ説公民のこの資料自体は基本はちょっと永田も申しましたけど動きがない時は2号で、5979書いております。ただ屋外水で、1号機とか3号機とか複数出るところだけ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:20	識別できるようにそう書いているんですけど、ちょっとそのようにちゃんと月別できてるかにつきましては確認いたします。以上です。わかりました。確かにおっしゃる通り内部溢水とかって話だと、
2:10:34	敷地内全部のタンクとかねそこら辺が対象になってくるって話だとそこら辺はわかりやすさの観点でどういう表現するかっていうのは事業者の方にお任せしたいと思いますんでこれ、別に括弧書きでいいんですけど、
2:10:47	記載として適正化していただければ十分かと思います。以上です。
2:10:54	中国電力中西様、了解いたしました。
2:10:56	では 11 番に参ります。福田です。お願いいたします。次防護区画への伝播有無の評価について、算定方法を説明すること。
2:11:07	規制庁ナカムラですけど 11 番まず(2)として、
2:11:15	判定方法を追記すること。
2:11:18	後でいいですよ。
2:11:27	はい。中国電力ナカニシ了解いたしました。12 番の行きます表 6 にも、
2:11:35	12 番OKで、かっこつけてください。
2:11:42	13 番もそれで結構なので、かっこつけてください。
2:12:09	はい。
2:12:11	14 番ですが、確保してもらって、
2:12:24	それぞれ、
2:12:29	資料に追記すること。
2:12:32	にしましょうか。
2:12:36	資料に、すすめを入れてくれたらそれで結構。
2:12:40	後ですから、
2:12:48	15 番括弧で結構です。
2:13:00	土岐前担当は、とりあえずが 16 番アノハットリが実は 2 人いるので、発言者明確になるように、貴殿ハットリというふうにしておいてください。
2:13:13	それとですね
2:13:16	算出条件もこれ、多分何%って決め事でやってると思うので、説明ではなくて、記載することにしてもらって括弧でいいですか。
2:13:39	中国電力の仲西笹井以上になります。
2:13:50	はい、よろしいだ規制庁イワサキです。よろしいですかねそれ、つい、
2:13:55	は特にないですかね。
2:13:59	当中国電力の方から何か追加でご説明することありますか。
2:14:05	以上ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:07	中国電力の仲西でございません。以上です。
2:14:11	はい。それでは本日のヒアリングを終了したいと思います。ありがとうございました。
2:14:18	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。